

第 43 回地域密着型サービス運営委員会の議事概要

1. 開催日時 令和 3 年 3 月 19 日（金）14：00～15：40
2. 開催場所 神戸市役所 1 号館 11 階情報化戦略部研修室
3. 議 事 **【審議事項】** 神戸市地域密着型サービス事業所の指定について
【審議事項】 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の公募選
定結果・募集方針について

4. 議事及び主な意見

【審議事項】 神戸市地域密着型サービス事業所の指定について

- 事務局から地域密着型サービス事業所の整備・指定状況について、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 4 月 1 日までの指定について計 30 事業所の概要等を説明し、指定について承認された。

< 認知症対応型共同生活介護について >

質問) 一つのグループホームの事業所において、1 ユニットなのに敷金が 2 つあるのはなぜか。

回答) 連帯保証人を立てることができる方とそうでない方の違いである。

< 法人変更・フランチャイズ事業所について >

質問) 法人変更に伴う指定とフランチャイズ展開している事業所の指定の際には、神戸市の運営方針についてのブリーフィングが必要ではないか。

回答) 指定申請を受理した際には、神戸として実際に運営していく中での注意事項などを説明していきたい。

質問) 人員不足で資格のない介護従事者がサービスにあたることもありサービスの質の低下を懸念しているが、神戸市としての運営方針を明確に示す必要があると思うがどうか。

回答) ご指摘のようなところに特に気を付けて実地指導していきたい。

【審議事項】 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の公募選定結果・募集方針について

- 事務局から定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の公募選定結果について報告した。
- 事務局から定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の募集方針について説明したが、審議持ち越しとなった。

質問) 兵庫県はなぜこのサービスを推進したいのか。また、整備が進まない原因は何か。

- 回答) 地域包括ケアシステムの推進のため中重度の方を在宅でケアするサービスとして重要視している。また、ベテラン介護職員の人材不足のため整備が進んでいない。
- 質問) 利用者が少ないが、利用者の特性はどうか。
- 回答) 神戸市ではターミナルケア的な方も含めて中重度の方が多い。また、働いているご家族にとっては、いつでも面倒を見てもらえるという点が良いといわれている。
- 質問) 看護小規模多機能型居宅介護とあわせた配置状況の見通しはどうか。
- 回答) 看護小規模多機能型居宅介護事業所は現在12か所ある。市としては小規模多機能型居宅介護も含めて、事業所数をコントロールするのは難しい。まず定期巡回の整備を進めていくこととあわせて、看護小規模多機能型居宅介護・小規模多機能型居宅介護についても整備状況を見ながら検討してまいりたい。
- 質問) 既存事業者のサービス提供区域も制限を外すことはできないのか。
- 回答) 公募制を廃止した際には区域制限も外すことになる。
- 意見) 力のない事業所が事業を継続するのは難しいだろう。
- 質問) 市としては公募制を廃止したいのか。
- 回答) 正直に言えば逡巡している。既存事業所の撤退の可能性もあるが、逆に利用希望者に断っている事業所もあるため、既存事業所と話し合いたいと思う。
- 意見) 定期巡回は赤字だが、他の事業での黒字を回して何とか維持している。サービス範囲を広げれば、それだけ人材が必要になってくる。公募をやめることによって事業から撤退する事業者も出てくるかもしれない。
- 質問) 都市部でも定期巡回は難しいのか。
- 回答) 都市部では駐車場の問題など、多方面に課題がある。ただ、区で区切っていたエリアを超えてサービスを展開できるのはメリットになると思う。
- 意見) 利用者からすれば、サービスを利用できる範囲外であるため利用できないのはデメリットだろう。
- 質問) 利用者は今後増えていく見込みなのか。また、区域に1つずつ必要なのか。
- 回答) 利用者が増えない理由はケアマネージャーへの周知不足があげられるので、市の事業者連絡会による研修会の実施や、退院調整する部署との連携などによって利用者を増やしたい。
- 質問) 利用者の利用期間はどれぐらいか。
- 回答) ターミナルケアや退院直後で頻回にサービスが必要な方に需要があるが、一人の方がサービスを継続して受けられることは少ないとの声もある。